

問1

平面上に三角形 OAB がある。辺 OA を $1:2$ に内分する点を C 、辺 OB を $3:2$ に内分する点を D とし、線分 AD と線分 BC の交点を P とする。また、 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ 、 $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ とおく。

- (1) \overrightarrow{OP} を \vec{a} 、 \vec{b} を用いて表せ。
- (2) 直線 OP と直線 CD の交点を Q とする。 $CQ:QD$ 、 $OQ:QP$ を求めよ。
- (3) 4点 A 、 B 、 C 、 D が1つの円 S 上にあり、 $OA=3\sqrt{5}$ 、 $AB=\sqrt{30}$ とする。辺 OB の長さとお積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を求めよ。

令和6年度 システム工学群 総合型選抜

数 学 $\frac{2}{6}$

[メモ欄]

問2

$AB=1$, $BC=2$, $CD=3$, $DA=4$ の四角形 $ABCD$ がある。四角形 $ABCD$ の面積を S , $\angle ABC = \alpha$, $\angle CDA = \beta$ とおく。ただし、四角形 $ABCD$ の4つの内角はすべて 180° より小さいものとする。なお、必要に応じて三角関数の加法定理 $\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$, および $\cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$ を用いてよい。

- (1) S を $\sin \alpha$, $\sin \beta$ を用いて表せ。
- (2) 対角線 AC の長さを $\cos \alpha$ を用いて表せ。また、対角線 AC の長さを $\cos \beta$ を用いて表せ。
- (3) S^2 を $\cos(\alpha + \beta)$ の式で表せ。
- (4) S の最大値, およびそのときの $\sin \alpha$, $\cos \alpha$ の値を求めよ。

令和6年度 システム工学群 総合型選抜

数 学 $\frac{4}{6}$

[メモ欄]

問3

0 を原点とする座標平面上に、曲線

$$C: y = -x^2 + 2x + 3$$

と、2点 $A(0, 3)$, $B(3, 0)$ がある。また、 $0 < p < q < 3$ とし、 x 座標が p, q である C 上の2点をそれぞれ P, Q とする。また、五角形 $OAPQB$ の面積を S とおく。

- (1) S を p, q を用いて表せ。
- (2) q を固定し、 p を $0 < p < q$ で変化させるとき、 S の最大値を q を用いて表せ。
- (3) S の最大値を求めよ。

令和6年度 システム工学群 総合型選抜

数 学 $\frac{6}{6}$

[メモ欄]